

- ◆発表者の氏名 谷崎 義生 (たにざき よしお)
- ◆発表者の職種 (医師)

「演題名」脳卒中救急搬送症例の事後検証：第3報

公益財団法人脳血管研究所美原記念病院¹⁾ 救急部・脳神経外科、¹⁴⁾ 神経内科、²⁾ 伊勢崎市民病院 救急センター・脳神経外科、³⁾ 前橋赤十字病院 脳神経外科、⁴⁾ 公立藤岡総合病院 脳神経外科、⁵⁾ 高崎総合医療センター 脳神経外科、⁶⁾ 館林厚生病院 脳神経外科、⁷⁾ 太田記念病院 脳神経外科、⁸⁾ 桐生厚生病院 脳神経外科、⁹⁾ 群馬大学医学部 脳神経外科、¹⁰⁾ 黒沢病院 脳神経外科、¹¹⁾ 老年病研究所付属病院 脳神経外科、¹²⁾ 日高病院 脳神経外科、¹³⁾ 沼田脳神経外科循環器科病院 脳神経外科
○谷崎 義生 (たにざき よしお)¹⁾、中島 重良 (なかじま しげよし)²⁾、朝倉 健 (あさくら けん)³⁾、甲賀 英明 (こうが ひであき)⁴⁾、栗原 秀行 (くりはら ひでゆき)⁵⁾、松本 正弘 (まつもと まさひろ)⁶⁾、矢尾板 裕之 (やおいた ひろゆき)⁷⁾、石原 淳治 (いしはら じゅんじ)⁸⁾、清水 立矢 (しみず たつや)⁹⁾、大森 重宏 (おおもり しげひろ)¹⁰⁾、宮本 直子 (みやもと なおこ)¹¹⁾、木幡 一磨 (こわた かずま)¹²⁾、石川 俊郎 (いしかわ としろう)¹³⁾、美原 盤 (みはら ばん)¹⁴⁾

【背景と目的】群馬県では11地域MC主催によるPSLSコースを75回開催、受講者は2040名であった。t-PA常時施行可能14病院、条件が合えば可能4病院を明示した。前回の本学会ではt-PA常時施行可能13病院の内10病院で脳卒中搬送症例の事後検証を行いその結果を発表した。今回は昨年11月13病院で事後検証を実施したのでその結果を報告する。【方法】昨年11月に13病院に救急搬送された脳卒中患者の搬送確認書を使用し、脳卒中判断、発症時間の記載率とロードアンドゴー判断の正解率を調査した。【結果】脳卒中判断・発症時間・それぞれの記載率は62.7%・61.2%で、内因性L&G正答率は42.9%であった。【結論】脳卒中救急は、地域拠点病院の努力により前進してきた。救急救命士の処置高度化に対応した事後検証が必須である。群馬県統合型医療情報システムを活用した、事後検証体制構築が喫緊の課題である。

- ◆発表カテゴリ (下記①～⑪より第1希望と第2希望を選択してください)
 - 第1希望：[⑧救急搬送](#)
 - 第2希望：[⑩システム関連](#)

- ◆登録者情報

2016年9月4日

氏名：谷崎 義生

所属：公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 救急部・脳神経外科

連絡先住所：〒372-0006 群馬県伊勢崎市太田町 366

電話番号：0270-24-3355

E-mail] : jugemu@plum.plala.or.jp